

2009年1月28日
 イオン北海道株式会社
 マックスバリュ北海道株式会社

北海道と協働で「認知症サポーター」養成へ取り組みます
2009年度までに北海道で約1,000名の「認知症サポーター」を養成

イオン北海道株式会社、マックスバリュ北海道株式会社は、厚生労働省とNPO法人「地域ケア政策ネットワーク」が協働で取り組んでいる「認知症サポーター100万人キャラバン」*に参画し、2月5日(木)北海道と協働で「認知症サポーター養成講座」と「キャラバン・メイト養成研修」を開催いたしますのでご案内申し上げます。

この取り組みは、北海道が進める4万人の認知症サポーター養成を目標とした取り組みにイオンが賛同し、協働して認知症サポーターの養成を図るものです。2月5日(木)はその取組みの第1回目として、各店舗や本社より従業員約100名が「認知症サポーター養成講座」の講師役(キャラバン・メイト)となるための研修を受講します。その後キャラバン・メイトが各店舗において「認知症サポーター養成講座」を実施し、2010年2月までに北海道で約1,000名の認知症サポーターを養成いたします。

また講座にはイオンが「地域ケア政策ネットワーク」とともに初めて制作したテキスト「認知症サポーター養成講座スーパーマーケット編」を活用する予定です。

イオンは、2007年よりグループ会社の多くの従業員が認知症の方及びそのご家族を的確にサポートさせていただくことができるよう、同講習の受講者(サポーター)を増やすとともに、講師役(キャラバン・メイト)の育成をはかってまいりました。現在認知症サポーターは、グループ累計で約7,300人を超え、講師役のキャラバン・メイトは約110人に達しております。

イオンでは、今後1人でも多くの従業員が認知症について正しく理解し、暮らしやすい地域づくりに役立てるよう、「認知症サポーター」の養成に積極的に取り組んでまいります。

* “認知症になっても安心して暮らせるまちを目指す”ため厚生労働省とNPO法人「地域ケア政策ネットワーク」が協働して、「認知症を知り地域をつくる10ヵ年」キャンペーンを2005年より開始しました。その一環として「認知症サポーター100万人キャラバン」があります。この取り組みは、認知症を正しく理解するための講習会(「認知症サポーター養成講座」)の受講者(サポーター)が、5年間で100万人になることを目指しています。

記

【2月5日の概要】

1. 日 時：2009年2月5日(木) 9:30~17:30
2. 場 所：かでの2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)
3. 講座内容：「認知症サポーター養成講座」 認知症の症状理解、認知症サポーターの役割、認知症の方への接し方など
 「キャラバン・メイト養成研修」 社内で「認知症サポーター養成講座」を開講できる講師役(キャラバン・メイト)として、より深く認知症を理解するための研修

* 以降キャラバン・メイトが道内各店舗で「認知症サポーター養成講座」を実施し、イオン北海道とマックスバリュ北海道の従業員合計約1,000名が受講、サポーターとなる予定です。

以上



木を植えています

私たちはイオンです